

【 目 次 】

第1章	地域福祉計画の策定にあたって	1
1	計画策定の背景と趣旨	1
2	計画の位置づけと期間	2
	(1) 法令の根拠	2
	(2) 計画の位置づけ	2
	(3) 計画の期間と関連計画との進行スケジュール	3
3	計画の策定プロセス	4
4	地域福祉の推進に関連する各制度等の状況	5
	(1) 国の各制度と市の取り組みの状況	5
	(2) 市の進めている取り組み	7
第2章	尼崎市の地域福祉を取り巻く現状と課題	10
1	尼崎市のまちの姿	10
	(1) 尼崎市の概況	10
	(2) 尼崎市のイメージ	11
2	統計データからみる人口の推移等	12
	(1) 人口減少社会と少子高齢化	12
	(2) 世帯構成の推移（単身世帯の増加）	16
	(3) 子どもを取り巻く状況	17
	(4) 障がい者、難病患者等の状況	17
	(5) 生活保護の推移	19
	(6) 地域の各種団体数の推移	20
	(7) 民生児童委員の状況	21
3	市民等の意識	22
	(1) 地域との関わりの状況	23
	(2) 地域の支え合い活動に関する意識	24
	(3) 悩み・不安の状況について	31
	(4) 福祉事業者への期待について	33
	(5) 連携・協働について	34
	(6) 災害時要援護者支援について	36
4	計画策定部会等における意見	37
5	第2期地域福祉計画の進捗と評価	39
	(1) 第2期地域福祉計画の基本目標と重点的な取り組み	39
	(2) 第2期地域福祉計画の進捗状況と今後の取り組み	40
6	尼崎市の地域福祉における課題	43
第3章	地域福祉計画策定の考え方	46
1	計画の基本理念	46
2	取り組みを進めるための視点	47

3	計画の基本目標	48
4	施策体系（調整中）	49
5	地域福祉を推進する主体の役割と協働の考え方	51
6	圏域（活動エリア）の考え方と重層的なネットワーク	57
	（1）圏域（活動エリア）の考え方	57
	（2）計画を支える仕組づくり（重層的なネットワーク）	58
第4章	施策の展開	62
1	「支え合い」を育む人づくり	62
	（1）福祉学習の推進	62
	（2）新たな担い手の発掘・育成・支援	64
	（3）地域福祉活動を支援する人材の育成	66
	（4）地域指向型の多様な福祉専門職の養成	66
2	多様な主体の参画と協働による地域づくり	67
	（1）地域を支えるネットワークづくり	67
	（2）多様な主体がつながり、話し合う場づくり	69
	（3）多様な手法による地域福祉活動の推進	70
	（4）誰もが地域に参加できる仕組みづくり	71
	（5）社会福祉法人、企業、NPO 等による地域貢献の推進	72
3	誰もが安心できる暮らしを支える基盤づくり	73
	（1）包括的・総合的な相談支援体制の充実	73
	（2）権利擁護の推進	76
	（3）適切な福祉サービス・情報の確保と利用推進	77
	（4）地域での見守り・支え合いの充実	78
	（5）災害時要援護者支援の推進	79
	（6）安全・安心に暮らせる環境整備	80
第5章	計画の推進	81
1	計画の進行管理と評価	81
2	地域福祉推進計画（尼崎市社会福祉協議会）との連携	81
第6章	参考資料	82
資料 1	諮問及び答申	82
資料 2	策定経過	82
資料 3	尼崎市社会保障審議会地域福祉専門分科会委員名簿	82
資料 4	尼崎市社会保障審議会地域福祉専門分科会計画策定部会委員名簿	82
資料 5	用語解説	82